



山形大学
Yamagata University

2024年6月20日
独立行政法人 日本学生支援機構
全国キャリア教育・就職ガイダンス 事例紹介

「オールやまがた」による 就職支援およびキャリア教育

山形大学 キャリアサポートセンター センター長 松坂 暢浩
山形大学 学士課程基盤教育院 准教授 山本 美奈子
山形大学 教育推進機構 教授 藤原 宏司

yu-gssyushi@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

本日の流れ（タイムスケジュール）

- 1) 社会背景と本学の取組みの経緯
- 2) 「オールやまがた」による就職支援
およびキャリア教育
 - ① アライアンスネットワーク
 - ② やまがたの自治体発見プログラム
- 3) 今後の展開について

本日の発表概要

本報告では、産学官が連携した「オールやまがた」による就職支援およびキャリア教育の取り組みを紹介します。

山形県では、大学卒業後に県外就職する20代前半の転出超過による「社会減」が問題となっています。本学就職者（学部卒）の県内定着率も3割を下回る状況が続いています。

一方で、学生に県内企業情報が十分に届いておらず、県内企業の魅力など情報提供のあり方に課題があると考えます。また、就職先エリアとして、生活しやすいイメージのある都市圏を希望する学生がおり、県内で暮らす魅力を伝えていくことが必要だと感じています。

本学では、これらの課題を踏まえ、IR部署と共同で学生データの分析を基に、様々な支援等に取り組んでいます。その中から、県内企業および自治体と連携し取り組む「アライアンスネットワーク」と「自治体発見プログラム」の2事例を紹介します。

山形大学の概要

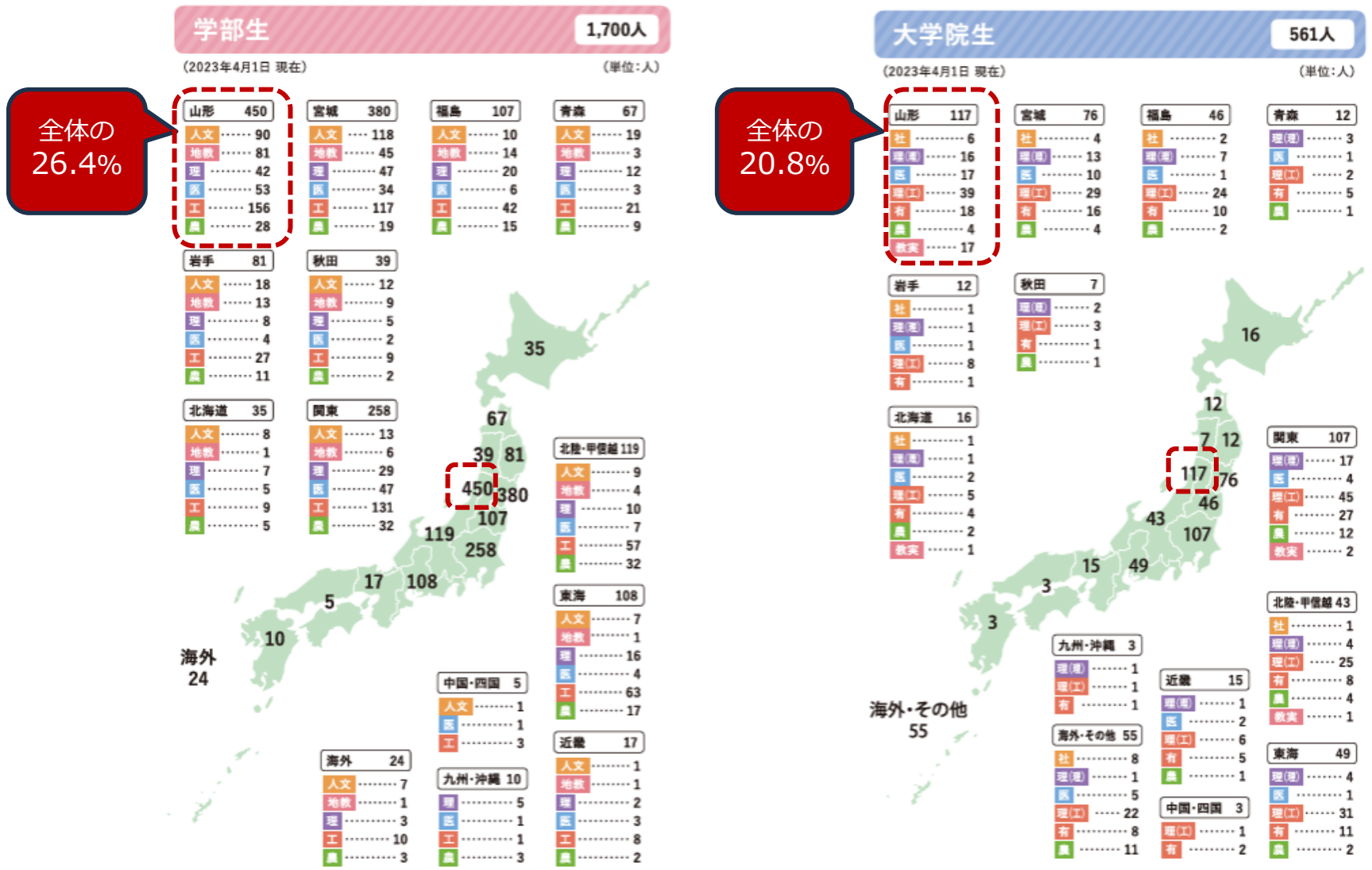


学長 玉手 英利 (たまたま ひでとし)

人文社会科学部・地域教育文化学部・理学部・医学部・工学部・農学部の6学部と6つの大学院研究科を備え、約9,000人の学生が4キャンパスで勉学に励む、東日本でも有数の規模を誇る総合国立大学



2025年3月卒業・終了予定者の出身地



本学の就職支援・キャリア教育の体制について

① 大学

キャリアセンター

専任教員

職員

連携

IR担当



連携

② 県内企業

- ・ アライアンスネットワーク (59社)
- ・ 山形県中小企業家同友会 (40社)

③ 自治体

山形県、山形市など



本学の入学から卒業まで一貫した支援

1年生

2年生

3年生

4年生

キャリア教育

- ・ キャリアデザインの授業
- ・ インターンシップ等



就職支援



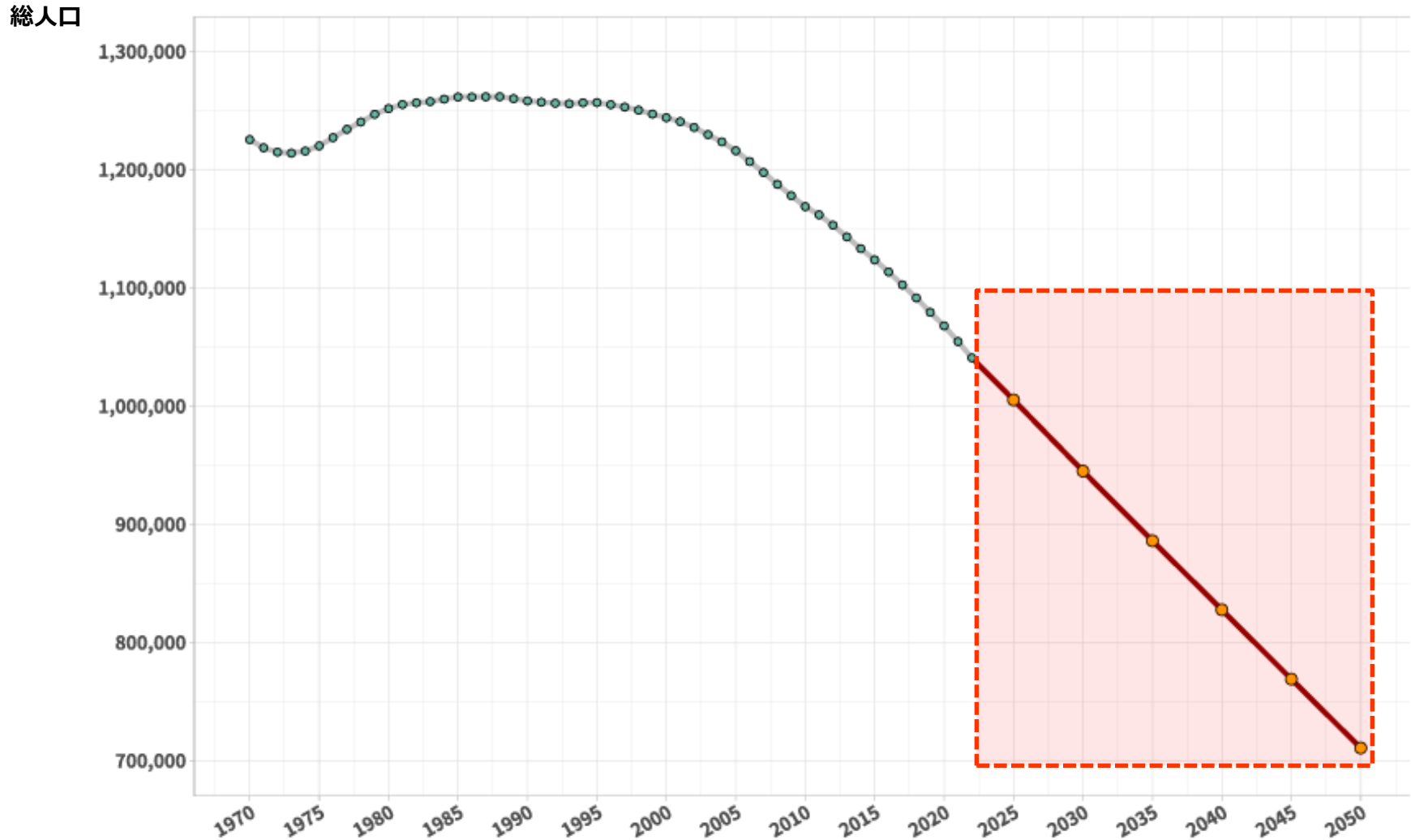
- ・ 県内企業の紹介等

キャリアセンターと県内企業および自治体とが連携して実施

本日の流れ（タイムスケジュール）

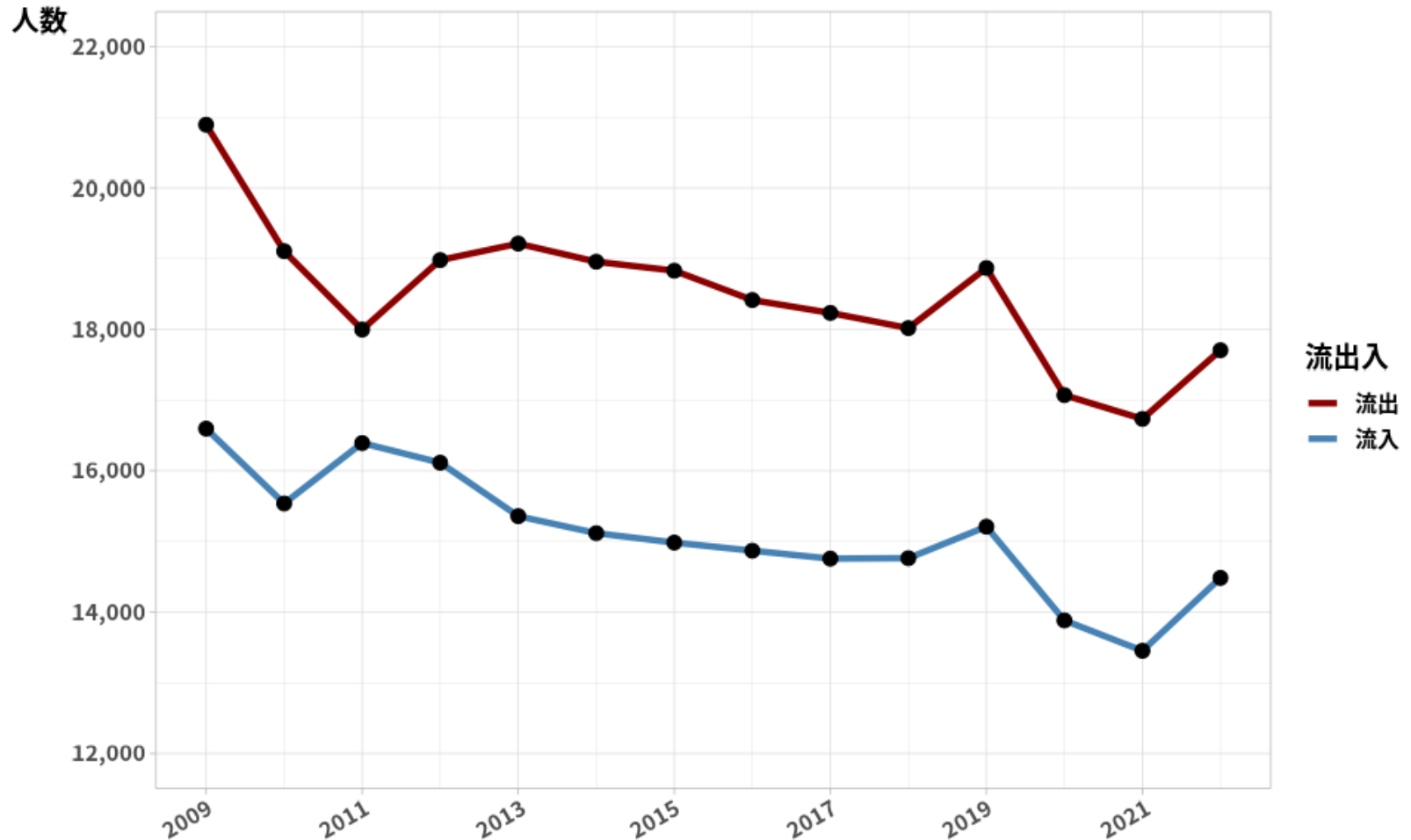
- 1) 社会背景と本学の取組みの経緯
- 2) 「オールやまがた」による就職支援
およびキャリア教育
 - ① アライアンスネットワーク
 - ② やまがたの自治体発見プログラム
- 3) 今後の展開について

山形県の人口推移：1970年-2050年



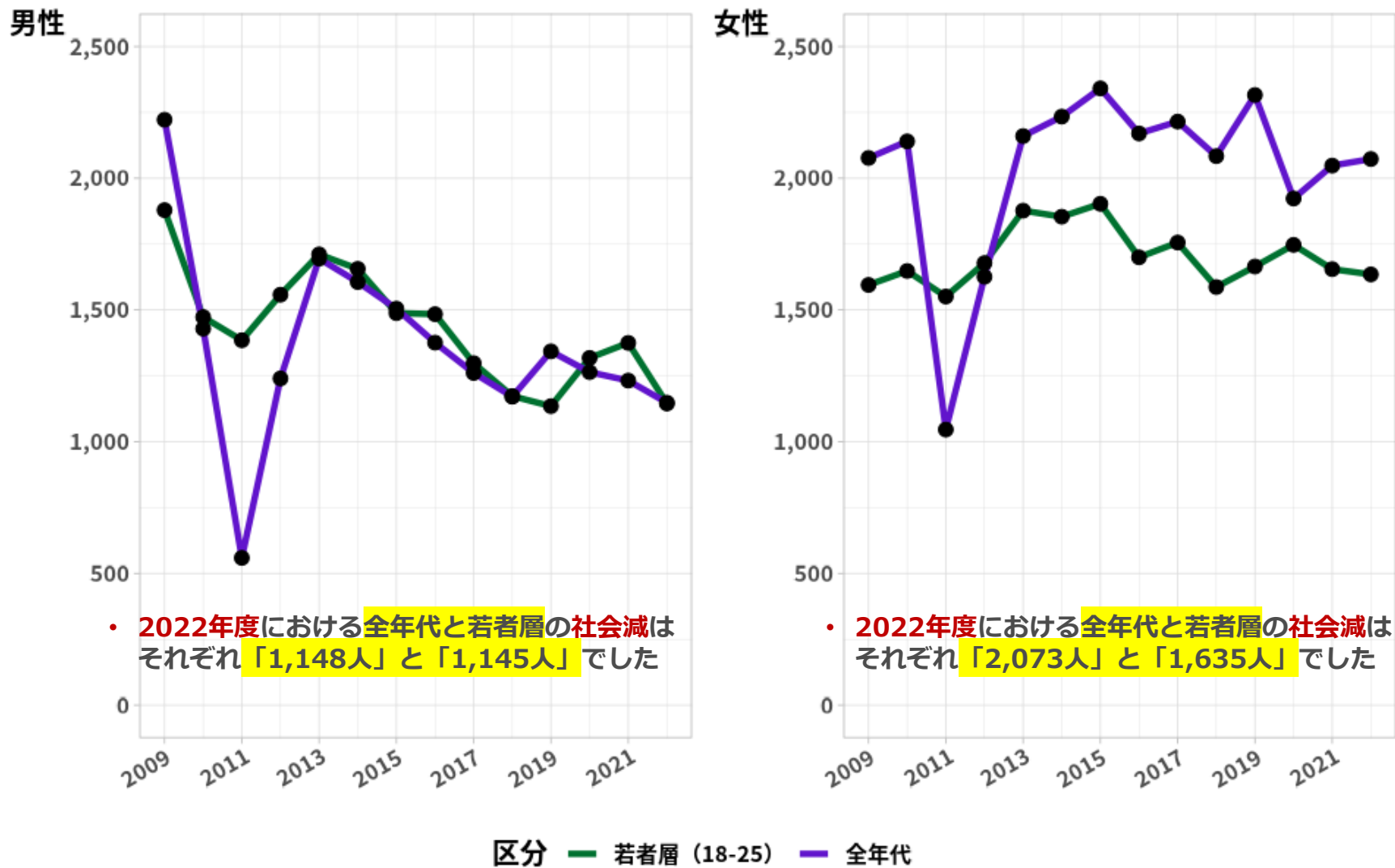
出所) 山形県みらい企画創造部統計企画課および国立社会 保障・人口問題研究所のデータを基に報告者(藤原)が作成

山形県における社会増減：2009年-2022年



■ **社会減**の範囲は、1,605人（2011年）から4,299人（2009年）

若者層（18歳～25歳）における社会減



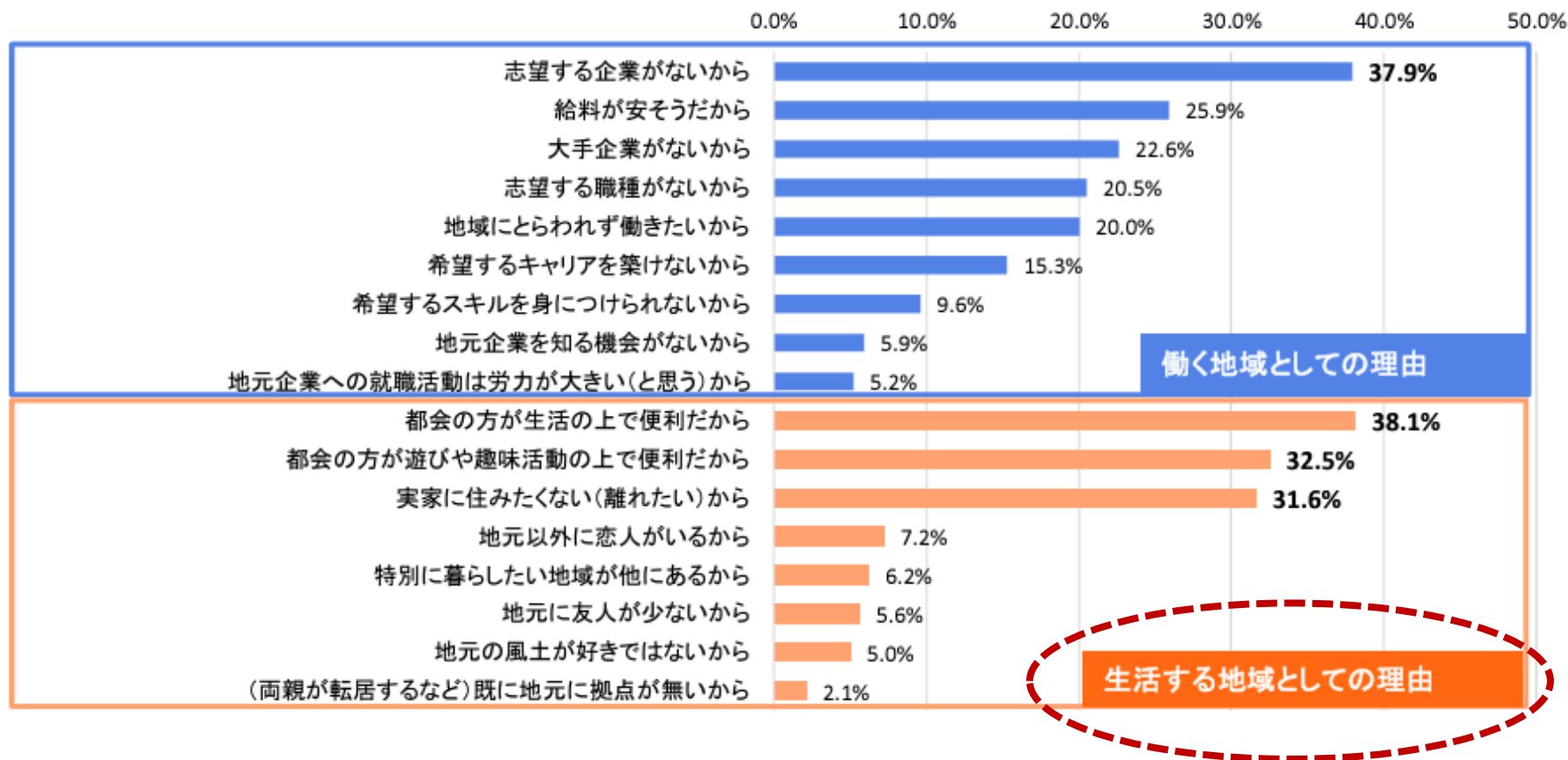
本学の学部卒就職者の就職地域と県内定着率

学部生		就職者数：974人													就職率（希望者における）：100%	
2023年3月卒業 （医学科除く）		就職地域														
		山形	宮城	福島	新潟	北東北 北海道	関東	北陸 甲信越	東海	近畿	中国 四国	九州 沖縄	海外	合計		
出身地域	山形	166	24	1	3	2	63		4	3		1		267		
	宮城	16	127	2	1	6	70	1	5	4	1	3		236		
	福島	7	4	26	1		26		2	1				67		
	新潟	9	4		21	2	10			2	2		1	51		
	北東北・北海道	14	23	2		50	53	1	4	3		1		151		
	関東	4	5	2	1	1	99			3	1			116		
	北陸・甲信越	2					8	5	1					16		
	東海		2			1	20	2	18	1				44		
	近畿	1	1				4	1	1	1	1			10		
	中国・四国						2				1			3		
	九州・沖縄		1				3					1		5		
	海外	3					4		1					8		
	合計	222	191	33	27	62	362	10	36	18	6	6	1	974		

県内定着率
22.7%

学生が地元就職を希望しない理由

地元企業（Uターン先企業含む）を希望しない理由



県内大学の就活生の県内企業に対する意見や要望



製造業系の企業が多く、特に文系が興味を持つ仕事・職種が少ないイメージがある

実際に働いている社員の声や様子を知りたい

仕事・企業の選択の軸となる“専門性・やりがい”などの明確な情報が学生に十分に届いてない

福利厚生についての情報が少なく、積極的に出してほしい



キャリアセンターの問題意識

県内定着を促進する上で、学生に対して働く魅力と暮らしの魅力の両方の情報を伝える必要があるのではないかな？

- 学生に対して、大学、企業、自治体が、それぞれに情報を発信するのではなく、3者が連携し「オールやまがた」で、学生に情報提供する様々な取組みを実施
- 本日はこれまでの取組みの中から「アライアンスネットワーク」と「自治体発見プログラム」の2事例を紹介

本日の流れ（タイムスケジュール）

- 1) 社会背景と本学の取組みの経緯
- 2) 「オールやまがた」による就職支援
およびキャリア教育
 - ① アライアンスネットワーク
 - ② やまがたの自治体発見プログラム
- 3) 今後の展開について

山形大学アライアンスネットワーク

アライアンスネットワーク参画企業



59社

(2024年4月現在)

山形大学と企業の提携

(アライアンスシステムの構築)

【目的】大学と企業が丸となって時代にマッチした社会人を育てる



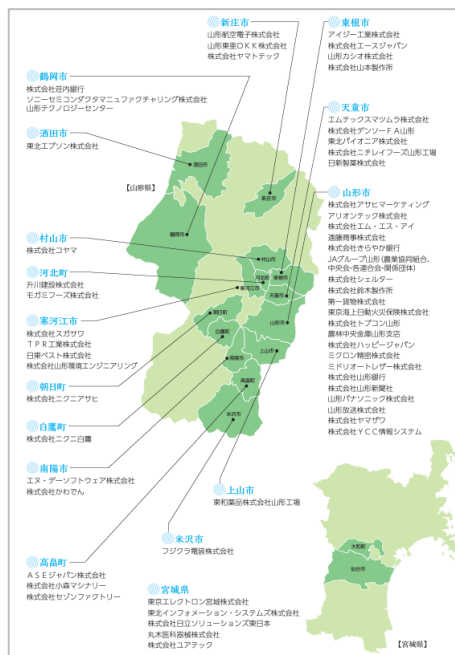
取組内容

- ・アライアンス企業との面談会（会社説明会）
- ・アライアンス企業に勤める本学OB・OGとの座談会
- ・キャリア教育（授業内でのアライアンス企業による講演など）
- ・アライアンス企業の採用担当者を対象とした研修会
- ・大学、学生、アライアンス企業との意見交換会
- ・企業研究冊子の発行、学生への配布



アライアンスネットワーク企業と連携した就職支援

業界・企業研究や合同企業説明会に参加する際の手引きとして、アライアンスネットワーク企業を紹介する冊子「一足先に企業研究！」を学生に配布



事業概要 >>> 金属外装材の研究開発・製造・販売

アイジー工業株式会社
ig kogyo
https://www.igkogyo.co.jp/

代表取締役社長 西元 亮典 営業部長 斎藤 隆典

キャリアセンターからの
お薦めポイント
業界シェアNo.1!
街中で目にする
モノづくり!

ラウンジで行われるミーティング
まっすぐに、建物を包むチカラ。

住所 / 山形県東根市蟹沢上1616-12
従業員数 / 375名 (男性317名、女性58名)
事業所 / 本社、東根工場、朝日工場、水戸工場、全国10営業所
山形大学OB・OGの数 / 49名 (2021.4月現在)

会社PR
金属製外装材「金属サイディング」市場のリーディングカンパニーである当社は、研究開発から製造、販売までの一貫体制が強みです。建築・建材の業界に直結しない学部・学科から多くの方が入社し、多様な専門性をもって活躍しています!

OB・OGに聞きました。/ この会社を選んだ理由「志望動機」

生活の中にある「当たり前」のものを作りたいと思い、いろいろな企業を探していた中で見つけたのが、アイジー工業でした。大学院在学中、メーカーの研究員になりたいと思っていましたが、自分を知るためにも、化学系出身者が少ないであろう当社の説明会にあえて飛び込んだ結果、建物という「当たり前」を認識させられました。この会社なら多くの人を支える「当たり前」を提供できると思い、入社を決めました。

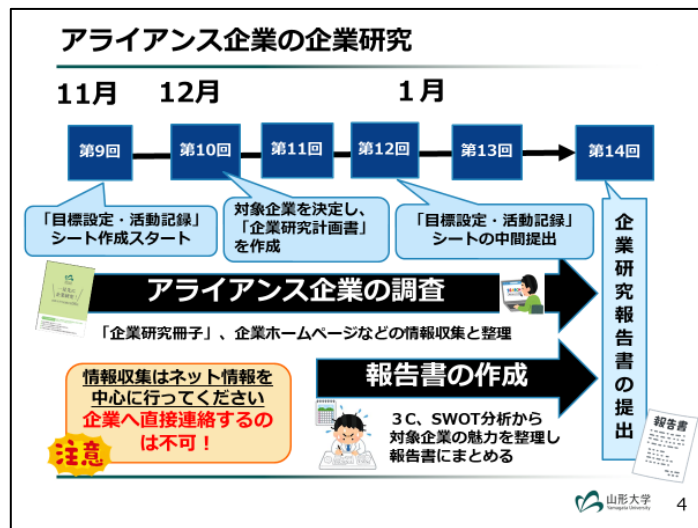
入社して実感した会社の魅力
意欲的に挑戦する社員に対して、バックアップが手厚いと感じています。資格の取得や業務に必要な勉強については、惜しみなく後押ししてくれる風気が整っており、若手でも各分野に精通した社員が多くいます。その分、責任も求められますが、互いに補い合いながら業務を行うことで、横の繋がりも強くなり、充実した日々を過ごしています。

岩田 弘 絵
大学院理工学研究科
物質生命化学専攻修士
研究開発部 実用開発チーム
2017年入社

企業連絡先 TEL: 0237-43-1830 e-mail: jinji@igkogyo.co.jp 担当: 総務部 人事チーム 保科・加藤・竹中
会社見学 随時ご連絡ください。日程相談の上、実施いたします。
OB・OG訪問 対応可能、上記連絡先までご一報ください。

工夫した点

アライアンスネットワーク企業と連携したキャリア教育



【1年生対象】
アライアンスネットワーク
紹介冊子を使用し、参画企
業の企業研究に取り組む授業
を実施

昨年履修者 **849**名

【主に2年生以上対象】
アライアンス企業のOB
OGが仕事の魅力につい
て講師する授業を各学部
等で実施

昨年履修者 **504**名



県内自治体と連携した就職支援（やまがたの自治体発見プログラム）

様々な知的資源を有する山形県内の高等教育機関と、地元の産業界、金融界、医療界、山形県及び県内自治体が密接に連携し、地域の課題解決と新たな価値の創出に取り組み、個人及び地域社会のウェルビーイング（幸福）に貢献し、地域の持続的発展を目指すことを目的に2022年設立

産学官金医の連携

「健康・医療」の分野も含めた
「やまがたモデル」のプラットフォーム

全国屈指の規模

県内全市町村が加盟する
「オールやまがた」体制により、
様々な課題を吸い上げ、見える化



課題解決に向けた事業実践の場

同じテーブルで恒常的に話し合い、
地域課題を共有・明確化し、具体的な方策を実践

山形県、山形市、米沢市、
鶴岡市、酒田市、新庄市、
寒河江市、上山市、村山市、
長井市、天童市、東根市、
尾花沢市、南陽市、山辺町、
中山町、河北町、西川町、
朝日町、大江町、大石田町、
金山町、最上町、舟形町、
真室川町、大蔵村、鮭川村、
戸沢村、高畠町、川西町、
小国町、白鷹町、飯豊町、
三川町、庄内町、遊佐町

参加自治体

（山形県及び山形県内35全市町村）

働く魅力だけでなく、
暮らしの魅力をまとめた
サイトを作れないか？

県内自治体と連携した就職支援（やまがたの自治体発見プログラム）

やまがたの 自治体発見プログラム

のサイト開設

<参加自治体>

山形県、山形市、上山市、東根市、長井市、
鶴岡市、新庄市、

1/18～2/7
の公開期間中に
延べ231名が
本サイトを閲覧

※現在、公開期間を延長中

参加自治体一覧

山形県 山形市 上山市 東根市 長井市 鶴岡市 新庄市



山形県

今、多様で柔軟な働き方と、女性も男性も、若者も、高齢者も、障がいを持った方々も、誰もが働きやすい職場環境づくりが求められています。山形県はその実現に向けて、県内企業とともに取り組んでいます。

紹介動画

公式サイト

YAMAGATAみらい職種図鑑

山形県就職情報サイト

U・Iターン就職支援

Yamagata Role model collection

やまがた21人財バンク

みやぎ・やまがた若者交流フィールドワーク
ツアー

【本サイトのコンテンツ】

① オンラインセミナー

参加自治体の魅力を紹介する
動画を公開

② 資料コーナー

参加自治体の暮らす・働くに
関する情報を紹介

出所）「やまがたの自治体発見プログラム」<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/municipality/2024>

※本サイトは、みやぎ・せんだい地域人材育成協働事業プラットフォーム事務局（東北学院大学）の助言および支援をいただき、「みやぎの自治体発見プログラム」を参考に、山形大学が企画・運営しています。

県内自治体と連携した就職支援（主に女子学生向け）

YAMAGATAみらい 職種図鑑



★「やまがたの自治体発見
プログラム」内で紹介

山形県と本学キャリアセンター専任教員が連携し、県内企業でいきいきと働く若手女性社員24名を取材し、**大学等の学びが活かせる職種の発見はもちろん、思ってもみなかった業種でも自分が活躍できる職種があることを紹介する冊子を作成し、学生に配布**

学び

×

業種

×

職種

3つの掛け合わせから、可能性と意外性を感じてもらうよう工夫



出所) 山形県「YAMAGATAみらい職種図鑑」デジタルブック (<https://www.yamagata-ebooks.jp/bookinfo/13457>)

【参考】県内中小企業団体との連携事例（インターンシップ）

本学の特徴的なインターンシップ：低学年インターンシップ

★文部科学省 第1回 大学等におけるインターンシップ表彰「最優秀賞（文部科学大臣表彰）」受賞★

＜取組概要＞

- ✓ 早期からの就業体験を通して、キャリア意識を高め、働くとは何かを考えることを目的に実施。
- ✓ 地域の中小企業の理解及び次年度以降のインターンシップ参加促進を目指し、山形県内の中小企業でインターンシップ（事前訪問1日・現場実習3日・振り返り1日）を行う。

評価のポイント

低学年

地域連携

モニタリング

○ 地域でのインターンシップの推進に向け、学生・企業が参加・受入れしやすくすることを目指し、積極的な意味での短期間のプログラムとするなど、**インターンシップ実施に係る負担感を軽減し、普及していくための工夫がなされている**。さらに、**県内中小企業における産学協働教育に対する意識改革にもつながっている点は高く評価できる**。加えて、受講者数の一層の増加や、次年度以降のインターンシップの本格実施に向けた展望をより明確にすることが期待される。

○ ターゲットを地場中小企業に絞り、「**インターンシップ・プログラム**」の基本フォーマットを山形県中小企業家同友会と協働して作成するなど、効果的な取組となるよう工夫を行っている。

○ **受講者の追跡調査を実施し**、キャリア意識や学修意欲、将来の職業選択等のプロセスと決定に関わる要因の把握にも努めているとともに、教職協働による学生向けの「インターンシップマニュアル」の策定や、学習管理システムの活用により、**効果的・効率的なインターンシップの運用がなされている**。

（基本データ ※平成29年度実績）

- ✓ インターンシップ参加者数/ 43人
- ✓ 受入企業等数/ 25社
（山形県中小企業家同友会加盟企業）
- ✓ 実施年次/ 1年次【選択必修】

※昨年度から他大学（私大2校）が、本取組に参画している

大学 山形大学

連携

中小企業団体

事前・事後指導

1年生

インターンシップ受入

【効果的・効率的な運用のための工夫】

対学生：インターンシップマニュアルの策定
学習管理システムの活用

対企業：プログラムの基本フォーマットの作成

【教育的効果を把握する取組】

① インターンシップ参加前後アンケート調査
→ 社会人基礎力およびキャリア意識が向上、98%の学生満足度

② 履修学生の追跡調査
→ 学習意欲の向上64%、進路選択活動の意欲向上82%

現在、本インターンシップをさらに発展させ、**参加する学生と受入先のインターンシップ担当社員とが共に学び育ち合う「共育型インターンシップ」**として、他県の同友会へと波及し、取組まれている。

出所) 文部科学省 (2018) 「第1回 大学等におけるインターンシップ表彰 受賞大学等取組概要」

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2018/12/19/1411892_02_1.pdf

山形大学「本学の特徴的なインターンシップ」 <https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/employment/intern/original/>

本日の流れ（タイムスケジュール）

- 
- 1) 社会背景と本学の取組みの経緯
 - 2) 「オールやまがた」による就職支援
およびキャリア教育
 - ① アライアンスネットワーク
 - ② やまがたの自治体発見プログラム
 - 3) 今後の展開について
-

今後の展開

1. **県外出身学生**に対する情報提供
2. **女子学生**に対する情報提供
3. 「やまがたの自治体発見プログラム」
の**参加自治体数を増やす**取り組み

本日の流れ（タイムスケジュール）

- 1) 社会背景と本学の取組みの経緯
- 2) 「オールやまがた」による就職支援
およびキャリア教育
 - ① アライアンスネットワーク
 - ② やまがたの自治体発見プログラム
- 3) 今後の展開について

ご清聴ありがとうございました